

関西の鉄道会社で広がる



ヘルプマークの輪

近鉄



関西の鉄道事業者 20 社局は、安心・快適に公共交通機関をご利用いただくための取り組みとして、1月9日(水)から2月8日(金)をコア期間として「ヘルプマーク」についてのポスターを掲出しました。

また、取り組みと前後して、各社で順次、車両の優先座席付近への「ヘルプマーク」ステッカーの掲出が進められています。

全国の公共交通でヘルプマークの導入の輪が広がっています。

東京オリンピック・パラリンピック開催を来年に控え、JR東日本の列車においてもヘルプマークの導入が期待されています。

誰もが安心して利用できる鉄道をつくるには、鉄道事業者の思い切った決断が重要です。

JR東日本の主体的な決断が、社会から求められています。

阪神



大阪メトロ



誰もが安心して利用できる心豊かな鉄道を実現しよう!